

LED電球スピーカー

リファレンスガイド

BLUETOOTH接続や再生については、別紙の「スタートガイド」をご覧ください

Made for  iPhone iPod	 
LST-SE100	

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**リファレンスガイドおよびスタートガイドをよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓
安全のための注意事項を守る
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
定期的に点検する
1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。
故障したら使わない
動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐに総合窓口に修理をご依頼ください。
万一、異常が起きたら
変な音・においがしたら、煙が出たら - 装着した照明器具の電源を切る - ソケットからはずす ソケットに装着している状態では、電源から完全に切り離せていません。 - 総合窓口に修理を依頼する

警告表示の意味 取説説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
注意を促す記号   
行為を禁止する記号   
行為を指示する記号 

 下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。	 
火の中に入れない	
分解しない 故障や感電の原因となります。内部の点検および修理は総合窓口にご依頼ください。	 分解禁止
 下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。	 
水のかかる場所や湿気のある場所に置かない 火災や感電の危険を避けるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。本機または本機を装着した照明器具の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、総合窓口にご相談ください。	
水中に沈めたり、水中で使えない 本機の防水性能は、IPX4相当の防滴仕様で、耐水圧設計ではありません。水中に沈めたり、水中で使用しないでください。感電や火災の原因となります。	
内部に水や異物を入れない 内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに使用を中止し、総合窓口にご相談ください。	
調光機能の付いた照明器具や回路、非常用照明器具、誘導灯器具、HIDランプ(水銀灯など)用器具、リモコンのついた照明器具では絶対に使用しない ランプの破損や発煙、点灯回路損傷の原因となります。	
直流電源では絶対に使用しない ランプの破損や発煙、点灯回路損傷の原因となります。	
取りつけや取りはずし、器具清掃のときは、必ず電源を切る 感電の原因となります。	
可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない 清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。	
 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
はじめから音量を上げすぎない 突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。	
特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない 本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。 - 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。 電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。 - 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。	
本機を自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。	
本機は、国内専用です 海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。	
紙や布でおおわない、燃えやすいものに近づけない 火災や器具加熱の原因となります。	
落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしない ランプが破損したり落下して破片が飛散したりすると、けがの原因となることがあります。特に器具清掃のときはご注意ください。	
点灯中や消灯後しばらくはランプが熱いため、絶対に手や肌を触れない 火傷の原因となることがあります。	

引火する危険のある環境(ガソリンや可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなどが近くにある場所、粉じんの多い場所など)で使用しない 火災や爆発の原因となることがあります。	
振動が強い場所や衝撃を受けやすい場所で使用しない ランプが落下したり破損したりして、けがや器具加熱の原因となることがあります。	
酸などの腐食性が高い環境で使用しない ランプが落下したり、口金腐食や漏電の原因となることがあります。	
粉じんの多い場所で使用しない 器具過熱の原因となることがあります。	
ソケットに確実に取り付ける ランプ落下の原因となることがあります。	
ランプの大きさ(外径、長さ)や重さを充分考慮し、必ず適した器具で使用する 落下の原因となることがあります。	
電球スタンドや多灯用器具に使用する場合は、器具の強度や天井への取付強度等を確認する 器具の転倒や落下、傾きの原因となることがあります。	
医療機器に近づけない 本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。	

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



接触禁止



注意

使用上のご注意

温度上昇について

- 本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

使用場所について

- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、クレジットカードなどの近く
(録音済みテープや時計、クレジットカードなどは、電球スピーカーに近づけないでください。)
 - 激しい振動のある所
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯すると、雑音が入ることがあります。(雑音が入るときは、ランプから1 m以上離してご使用ください)
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

取り扱いについて

- 汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED素子などは交換できません。
- ランプ周囲温度が5℃～40℃の範囲で使用してください。
- 密閉型器具など、器具内の温度や周囲温度が高くなる器具へ装着した場合、寿命が短くなったり、自動的に電力を抑えるため明るさが低下したりする場合があります。
- 交流100V、周波数50/60Hz以外での電源では使用しないでください。
- ランプを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- LED素子には光色、明るさにばらつきがあるため、同一形式の商品でも光色、明るさが異なることがあります。
- 明るさ、光色、中心光度および光の広がり方(配光)は白熱電球とは異なります。
- 一般的な電球と比べると、点灯や消灯のタイミングが遅れる場合があります。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどとは組み合わせ使用できない場合があります。
- ご使用前に器具が老朽化していないかご確認の上、お取付けください。
- 装着する照明器具の種類・形・設置場所により音質は異なります。
- 本機のスピーカー部分を指で押したりして衝撃を与えないでください。

保証書

品名	LED電球スピーカー		
型名	LST-SE100		
お買上げ日	年	月	日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

販売店	
お問合せ先：修理相談窓口 フリーダイヤル： 0120-520-053 携帯電話・PHS一部のIP電話からは、03-5796-6285 ホームページ：https://iot.sonymnetwork.co.jp/lbs/ ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番3号	
保証期間	お買上げの日から 1 年
お客様住所	電話 - - 様
お名前	

無料修理規定

- 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。ご依頼は、次のいずれかまでお願いいたします。
また、ご依頼にあたっては、本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出が必要となりますのでご注意ください。
(1)本書の表面に記載の修理相談窓口（指定業者が製品を引き取りに伺う際に、指定業者が本書をお預かりします）
(2)お買上げのお店（製品をご持参の上、本書をご提示ください）
- 離島及び離島に準ずる遠隔地へ修理品を引き取りに伺う場合、または配送をする場合は、これらに要する実費をご負担いただきます。
- 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1)本書のご提示がない場合
(2)本書にお買上げ日および販売店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合
(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合
(4)使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷
(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷
(6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷
(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷
(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷
(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
- 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 修理メー:

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 ST01-1

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、総合窓口までお問い合わせください。総合窓口については本書をご覧ください。

2.4 F H 1	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。
------------------	--

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロフィール

プロフィールとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロフィールに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：

BLUETOOTH標準規格Ver. 4.1準拠

対応BLUETOOTHプロフィール：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)：音量の調整や、再生／一時停止などの曲操作をする。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所
- 送信機に別のBLUETOOTH機器を接続している場合

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロフィールに対応している必要があります。ただし、同じプロフィールに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、音楽再生時に、送信側比べて受信側は音声がかわずかに遅れて聞こえます。特に動画の音声を受信する場合、映像よりも音声が遅れて聞こえる場合があります。
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

防水について(ご使用前に必ずお読みください)

本機の防水性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」の“水の浸入に対する保護等級”であるIPX4*相当の防滴仕様*2です。水滴がかかる状態で使用する場合は、一般照明用電球の防水ソケットでご使用ください。その際にお使いの防水ソケットが正常に機能しているかご確認ください。使いかたによってはソケット部から内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

*1 IPX4相当とは、あらゆる方向からの飛沫に対して本体機能を保護するものです。

*2 付属のリモコンは防滴仕様になっておりません。

防水の対象となる液体*3

対象	真水、水道水
非対象	上記以外の液体 (例: 洗剤や入浴剤の入った水、温泉水、高温のお湯、プールの水、海水など)

*3 海、プール、温泉、サウナでの使用はおやめください。塩水、塩素水、硫黄、高温により本機が故障する可能性があります。

防水性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。

お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防水性能を保つために

下記の点を必ずご確認のうえ、正しく本機をお使いください。

- 本機は耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかるため、本機を水中に沈めたり、水道の蛇口からの勢いのある水を直接かけるなどしないでください。また、勢いのある水を本機に向けて直接かけたりしないでください。
- 本機を温度が非常に高いところ (約40℃以上) や低いところ (約0℃以下) で使用したり、放置したりしないでください。変形などにより防水性能が保持できなくなります。0℃以下では、本機に付着した水滴が凍結し、故障するおそれがあります。
- 高温のお湯を直接かけたり、付着した水滴を乾燥させるなどのためにドライヤーなどの機器からの熱風を直接あてないでください。また、サウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水性能が劣化する原因となることがあります。

主な仕様

LED部
全光束 640 lm
消費電力 8.8 W (LED: 6.8 W／スピーカー: 2.0 W)
エネルギー効率 94.1 lm/W
光色 電球色
対応口金 E26口金
配光 広配光タイプ
スピーカー部
使用スピーカー 直径約40 mm
BLUETOOTH

通信方式 BLUETOOTH標準規格Ver. 4.1
出力 BLUETOOTH標準規格Power Class 1
最大通信距離 見通し距離約10 m*1
使用周波数帯域 2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz)
変調方式 FHSS
対応BLUETOOTHプロフィール*2 A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック*3 SBC*4、AAC、Qualcomm® aptX™ audio
対応コンテンツ保護 SCMS-T 方式
伝送帯域 (A2DP) 20 Hz ～ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)
*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*2 BLUETOOTHプロフィールとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*3 音声圧縮変換方式のこと
*4 Subband Codec の略

その他
定格入力 AC100V 50/60 Hz共用
使用環境・使用温度範囲 屋内用 5℃～40℃
最大外形寸法 (最大突起部含む) 約Φ61 mm × 116 mm
質量 約 198 g
付属品 リモコン (1) リモコン用リチウム電池 (CR2032、リモコンに装着済み、お試し用) (1) スタートガイド (1) リファレンスガイド・保証書 (本書) (1)
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機でLight Plusが使用できるiPhone/iPodについて (2020年1月現在)

iPhone XS Max、iPhone XS、iPhone XR、iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPod touch (第6世代)

Light Plusは、iPhone及びiPod touchにのみ対応しています。

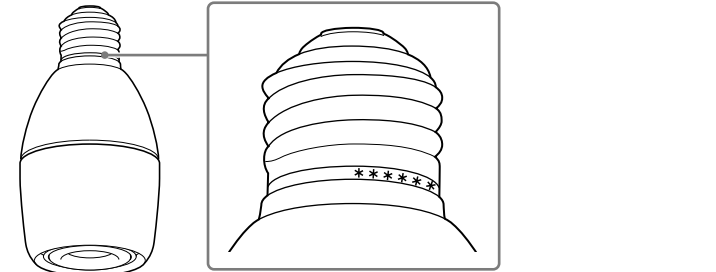
- Android、Google Playおよびその他のマークまたはロゴはGoogle LLCの商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社 N T T ドコモの登録商標です。
- ウォークマン、WALKMAN、WALKMANロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Nマークは、NFC Forum, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。
- Apple、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 修理時等にはシリアルナンバーが必要になります。本機のシリアルナンバーは、Light Plusの設定画面および電球スピーカー本体の口金部分 (下図) に記載されています。



アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

ヘルプガイド (https://rd1.sony.net/help/speaker/1st-se100/ja/) に記載の「よくある質問」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

総合窓口 (下記) にご相談ください。修理にお出しになるときは、どちらか一方に不具合があると思われる場合も、必ず本体とリモコンの両方をお持ちください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではLED電球スピーカーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

型名: LST-SE100

よくあるお問い合わせはヘルプガイドをご活用ください。
https://rd1.sony.net/help/speaker/1st-se100/ja/

お問い合わせはこちらまで

本機の相談窓口は、ソニーネットワークコミュニケーションズ総合窓口が行っております。

ソニーネットワークコミュニケーションズ総合窓口フリーダイヤル 0120-520-053

対応時間: 9:00～18:00

※1月1日、2日及び弊社指定のメンテナンス日を除く

携帯電話、PHSからもご利用になれます。

一部のIP電話等からは、03-5796-6285